

北本市版スーパー・シティプロジェクト

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な地盤の大宮台地に、防災機能を持つ住宅とともに、雑木林や谷津等の豊富な自然環境を生かしたグリーンインフラストラクチャーの整備等を推進し、地域の防災機能を強化する。</li> <li>・市街地の雑木林、空き店舗や空き家等の都市ストック、(仮称)市民活動交流センター等を活用して、住民が集い、つながれる文化水準の高いコミュニティスペースの整備等を推進し、住民の日常生活を豊かにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化、高齢化等を要因として住民同士のつながりが希薄化する地域で、支え合いや自発的な交流活動を活性化させるとともに、その担い手を育成する必要がある。</li> <li>・子育て世帯や高齢者等が安心して住み続けられるまちづくりを実現するため、交通の利便性向上策や安全対策のほか、住宅政策等を充実させる必要がある。</li> <li>・自然災害に強い地盤を持つ特徴をさらに生かすため、自然災害の発生時にも生活を維持することができるようハード・ソフトの両面を充実させる必要がある。</li> </ul>

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	つどう、つながる人の発意で成長する コミュニティスペースづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧栄小学校校舎を活用した(仮称)市民活動交流センターの整備</li> <li>・北本団地活性化プロジェクト等の推進</li> <li>・地域資源である雑木林等を活用したコミュニティスペース等の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市ストックの活用</li> <li>・学習、交流メニューの提供</li> </ul>
スマート	デジタル技術を活用した “住み続けたいまち”づくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段等の充実</li> <li>・交通安全対策の充実</li> <li>・防災機能を持つ災害に強いスマートタウンの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段等の充実</li> <li>・交通安全対策の充実</li> <li>・環境負荷低減の取組の充実</li> <li>・防災機能を持つ住宅の整備</li> </ul>
レジリエント	“みどり”とともにある レジリエントな地域づくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源である雑木林等を活用したグリーンインフラストラクチャーの整備</li> <li>・太陽光パネルをはじめとした再生エネルギーの活用等による災害時でも途絶えない電源の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑木林等の育成</li> <li>・再生可能エネルギーの活用等</li> </ul>

# 北本市版スーパー・シティプロジェクト

この取組を通して実現すること【第五次北本市総合振興計画】

## ① 「“みどり” 豊かで

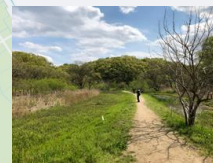
災害に強いまち」のロールモデルに！

## ② 人の近接によりまちの活力を生み出すこと

## ③ 暮らしやすさを追求した生活基盤の充実

### “みどり”とともにあるレジリエントな地域づくり

- ・公園緑地の防災機能の強化や、街路樹の緑化等の推進
- ・災害時に活用できるPHV車の導入



### つどう、つながる人の発意で成長する コミュニティスペースづくり

- ・栄小学校の跡地へ地域住民が集う交流拠点の整備
- ・市街地の雑木林等を活用した地域住民の交流できるコミュニティスペースの整備



### デジタル技術を活用した “住み続けたいまち”づくり

- ・AIを活用した交通安全対策の充実
- ・防災機能を持つスマートタウンの整備